

会計ソリューションセミナー

『最新シェアードサービスの意義と適用事例』

～連結経営時代における会計業務視点での分析～

ベリングポイント株式会社 (<http://www.bearingpoint.co.jp>)

ベリングポイントは、世界最大のビジネスコンサルティング会社のひとつであり、ビジネスとテクノロジーを融合させることにより、企業ならびに政府機関のビジネスをサポートしています。世界中の16,000名におよぶプロフェッショナル・スタッフが、顧客企業の事業戦略立案、財務再構築、ビジネスモデルの再構築から業務変革、ITソリューション導入、システム・インテグレーション、組織と人の変革、システムの保守、業務の運用に至るまで総合的に提供しています。日本においては、1,000人規模の組織として、企業を成功に導くサポートをしています。2002年、アンダーセンのビジネスコンサルティング部門との統合後、社名をKPMGコンサルティングからベリングポイントに変更しました。

基調講演 『シェアードサービスの見直し～経理業務を例に～』

ベリングポイント株式会社 マネージャー

酒井 秀樹

日本企業においても「シェアードサービス」手法の採用が一般化しつつありますが、シェアードサービス本来の意義から離れ、単なるグループ内の経理業務の集約化に留まっている傾向が強いように思われます。

ここでは、間接部門の存在意義の見直しおよび業務の可視化に焦点をあて、シェアードサービス手法の意義の再確認を行います。

略歴

大手石油元売会社を経て、アンダーセン ビジネスコンサルティング部門(現ベリングポイント株式会社)に入社。シェアードサービス導入支援、バランス・スコアカード構築支援、設備投資意思決定プロセス改革支援、ABC/ABM導入支援等の経営管理・業務改革を中心とするコンサルティングに従事。

著書

『株主価値マネジメント 日本型SVA経営の基本と応用』生産性出版 共著
『バランス・スコアカード導入ハンドブック 戦略立案からシステム化まで』東洋経済新報社 共著

『富士通における人事総務アウトソーシング ～事例紹介～』

株式会社富士通HRプロフェッショナルズ 代表取締役社長 清水 裕子

弊社は、就業関係や人事・総務関連の諸手続きを行うワークフローシステム「マイオフィス」を構築し、間接業務を集中化するとともに、コールセンターシステムの導入による人事・総務サービスセンターへの問い合わせ先の一本化により、年間60億円相当の効率化を実現してまいりました。2001年に設立した(株)富士通HRプロフェッショナルズによる企業グループ全体の業務効率化の事例をご紹介します。

略歴

富士通本社人事勤務部ER(Employee Relations)担当課長としてコールセンターシステムなどインターネットを活用した新しいスタイルの人事・総務サービスセンター構想を企画。2002年4月人事・総務サービスセンター長、富士通HRプロフェッショナルズ社長に就任。現在に至る。

『富士通におけるシェアードサービス取り組み事例』

富士通株式会社 経理部 テクニカルアドバイザー 俵 一雄

ここ数年のビジネス環境の変化に対応し、富士通自身も会計・税務、人事給与等を別会社業務として独立させシェアードサービス化するという取り組みを行ってきました。

グループ企業として生き残っていくためには競争力を高めるためにも、経理・財務・人事給与・総務購買といった間接コストの削減と業務の合理化の実現が強く求められています。

本セミナーでは弊社のシェアードサービス事例の紹介を含めグループシェアードサービスの現状と課題、ネットワークが進化した現在においてどのような企業会計システムを実現していくべきか、今後のあるべき姿について、連結経営からの視点を交えて、ご提案させていただきます。

略歴

富士通(株)入社後、本社経理、工場経理、事業本部経理を経て、関連会社(現 富士通ゼネラル)、海外関係子会社(富士通アメリカ)での事業管理、原価管理を実践。これらの経験を生かし、現在は企業会計のコンサルティングに従事。対応顧客は300社以上。